

(別添)

農畜産業機械等リース支援事業(地域作物支援型)に関する事業評価シート

県名	市町村名	事業実施主体名	事業実施年度	目標年度	成果目標の具体的な内容	目標数値			事業評価の検証方法	事業計画の妥当性	適正な事業執行	地方農政局長等の意見	達成率
						現状	目標	結果					
鹿児島県	中種子町	油久さとうきび生産組合(再評価)	平成26年度	平成31年度	10a当たりの収量を5%以上増加	6.139t	7.676t	6.224t	製糖工場(新光糖業株式会社)の出荷実績により検証	1	2	ハーバスターを導入し、適期収穫・適切な肥培管理による単収の増加を目指したものの、成果目標は達成出来なかった。未達成の誘因は度重なる台風襲来(特に9月末の台風24号)によるところが大きいと考えられる。そのため、今年度は改善計画の作成までは求めないが、次年度に再評価を行うこととする。	5.5%
鹿児島県	南種子町	(株)南種子精脱葉(再評価)	平成27年度	平成31年度	10a当たりの収量を5%以上増加	6.22t	7.5t	4.6t	製糖会社の出荷量による算出	1	2	ハーバスターを導入し、適期収穫・適切な肥培管理による単収の増加を目指したものの、成果目標は達成出来なかった。未達成の誘因は度重なる台風襲来(特に9月末の台風24号)によるところが大きいと考えられる。そのため、今年度は改善計画の作成までは求めないが、次年度に再評価を行うこととする。	-126.6%
鹿児島県	喜界町	伊実久さとうきび生産組合(再評価)	平成27年度	平成31年度	株出栽培面積の割合を5%以上増加	65%	72%	68.9%	組合員の農家台帳等の実績により検証	1	2	ハーバスターを導入し、適期収穫・適切な肥培管理による株出栽培面積の増加を目指したものの、成果目標は達成出来なかった。未達成の誘因は前年に続く度重なる台風襲来(特に9月末の台風24号)により、新植せざるを得なかったためである。そのため、改善計画の作成までは求めないが、次年度に再評価を行うこととする。	-55.7%
鹿児島県	喜界町	AKKファーム(再評価)	平成27年度	平成31年度	10a当たりの収量を5%以上増加	4.621t	5.018t	4.211t	目標年度の実績により検証	1	2	ハーバスターを導入し、適期収穫・適切な肥培管理による単収の増加を目指したものの、成果目標は達成出来なかった。未達成の誘因は度重なる台風襲来(特に9月末の台風24号)によるところが大きいと考えられる。そのため、今年度は改善計画の作成までは求めないが、次年度に再評価を行うこととする。	-103.3%
鹿児島県	伊仙町	幸山ファーム株式会社(再評価)	平成27年度	平成29年度	株出栽培面積の割合を5%以上増加	61.9%	74.5%	69.8%	JA発行資料(収穫実績)より検証	1	2	トラクター、ブームスプレーヤーを導入し、適期管理を推進を図ることにより、株出し面積の割合の増加を目指したものの、成果目標は達成出来なかった。未達成の誘因は前年に続く度重なる台風襲来(特に9月末の台風24号)により、新植せざるを得なかったためである。そのため、改善計画の作成までは求めないが、次年度に再評価を行うこととする。	62.7%

鹿児島県	知名町	下城さとつきび増産組合(再評価)	平成27年度	平成29年度	10a当たりの収量を5%以上増加	4.31t	5.33t	4.1t	糖業会社や沖永良部さとつきび生産対策本部生産実績により検証	1	2	液肥散布機を導入し、土づくりによる単収の増加を目指したものの、成果目標は達成出来なかった。未達成の誘因は度重なる台風襲来(特に9月末の台風24号)によるところが大きいと考えられる。そのため、今年度は改善計画の作成までは求めないが、次年度に再評価を行うこととする。	-20.1%
鹿児島県	西之表市	株式会社西之表精脱	平成28年度	平成30年度	生産量を5%以上増加	1,528t	1,854t	1,731t	製糖工場への出荷数量にて検証	1	2	トラクターを導入し、肥培管理の適切な実施による単収の増加を目指したものの、成果目標は達成出来なかった。未達成の誘因は度重なる台風襲来(特に9月末の台風24号)によるところが大きいと考えられる。そのため、今年度は改善計画の作成までは求めないが、次年度に再評価を行うこととする。	62.4%
鹿児島県	知名町	西目さとつきび生産組合	平成28年度	平成30年度	10a当たりの労働時間を10%以上削減	52.7h	20.9h	15.0h	作業日誌及びさとつきび対策本部のデータから検証	1	2	ハーバスター、トラクター、施肥機を導入し、機械化一貫体系を確立したことから、10a当たりの労働時間が大幅に削減され、成果目標は達成された。	118.6%
鹿児島県	知名町	豊島さとつきび生産組合	平成28年度	平成30年度	10a当たりの労働時間を10%以上削減	88.7h	18.7h	18.6h	作業日誌より検証	1	2	ハーバスターを導入したことにより、従来の手刈り作業から収穫に要する労働時間が大幅に減少したことから成果目標は達成された。	101%
鹿児島県	伊仙町	あまみ農業協同組合	平成28年度	平成30年度	10a当たりの労働時間を10%以上削減	42.1h	28.3h	27.9h	作業日誌より検証	1	2	ハーバスターを導入し、労働時間の削減や適期収穫・適切な肥培管理による生産量、単収の増加を目指したところであり、労働時間の削減については、従来の手刈り作業から労働時間が大幅に削減され成果目標を達成することが出来た。 一方、生産量・単収増加については、成果目標を達成出来なかった。未達成の誘因は度重なる台風襲来(特に9月末の台風24号)によるところが大きいと考えられる。そのため、今年度は改善計画の作成までは求めないが、次年度に再評価を行うこととする。	102.9%
					生産量を5%以上増加	2,741t	3,083t	2,702t	JA収穫実績より検証	1	2		-11.4%
					株出栽培の10a当たり収量を5%以上増加	5,08t	5,51t	5,02t	JA収穫実績より検証	1	2		-14.0%
鹿児島県	伊仙町	浜口ざわわファーム	平成28年度	平成30年度	10a当たりの労働時間を10%以上削減	38.1h	12.1h	12.1h	作業日誌より検証	1	2	ハーバスター、トラクター、中耕ローリー、プランソイラ、株揃機等の農業機械を導入し、機械化一貫体系を確立したことから、10a当たりの労働時間が大幅に削減され、成果目標は達成された。	100%
鹿児島県	伊仙町	マルゲン	平成28年度	平成30年度	10a当たりの労働時間を10%以上削減	38.8h	16.2h	14.5h	作業日誌より検証	1	2	ハーバスター、トラクター、中耕ローリー、プランソイラの農業機械を導入し、機械化一貫体系を確立したことから、10a当たりの労働時間が大幅に削減され、成果目標は達成された。	107.5%
鹿児島県	伊仙町	目手久キビ生産組合	平成28年度	平成30年度	10a当たりの労働時間を10%以上削減	37.1h	12.8h	12.7h	作業日誌より検証	1	2	ハーバスター、トラクター、中耕ローリー、ハイクリプームの農業機械を導入し、機械化一貫体系を確立したことから、10a当たりの労働時間が大幅に削減され、成果目標は達成された。	100.4%